

山言  
茂狂

2022

# 笑の収穫祭

次世代の躍動

開演 | 2022年  
10月10日(月)祝 14時  
会場 | 金剛能楽堂  
入場料 | 前売 6,500円  
補助席 5,500円

※いずれも税込、一般席・補助席とも当日500円アップ

鈍  
太郎

附  
子

釣  
針

KBS京都



特別協賛



# 茂山狂言 笑の収穫祭 2022

## 鈍太郎

鈍太郎 ● 茂山宗彦  
下京の女 ● 茂山 茂  
上京の女 ● 茂山逸平

裁判も終わり、久しぶりに西国から帰ってきた鈍太郎は、下京に住む本妻と上京に住む愛人のもとを尋ねます。二人とも本物の鈍太郎とは思わず、別の男と結婚したと嘘をついて追い返してしまいます。落胆した鈍太郎は出家して、修行の旅に出ることになります。その後、前夜の男が本当の鈍太郎であったと気づいた本妻と愛人は、二人で鈍太郎が通りかかるのを待ち、出家をとどまらせようとしています。

鈍太郎を追ってきた二人の妻。本妻には少々冷たく、愛人にはやさしく振る舞う姿が笑いを誘います。



©辻井清一郎

## 附子

太郎冠者 ● 茂山竜正  
次郎冠者 ● 茂山虎真  
主人 ● 茂山七五三

山一つ向うまで出かける主人は、太郎冠者と次郎冠者に留守番を言いつけます。主人は二人に桶を見せ、この中には附子という毒が入っていて、その方から吹く風にあたっただけで死んでしまうくらいだから、絶対に近づかないようにと言いつけて出かせます。しかし、だめだと言われると、やってみたくなるのが人情。二人はこわごわ桶に近づき、中をのぞき込みます。すると、中身は附子ではなく、おいしそうな砂糖だったのです。二人は我慢できず、つい砂糖を口にしてみたい、とうとう全部たらいあげてしまいます。そして、言い訳のために主人の秘蔵の掛け軸や、天目茶碗をこわして、大声で泣きながら主人を待ちます。驚き怒る主人に、二人は訳を話すが……  
一休さんの頓知ばなしとしても登場する有名な狂言です。



©川西善樹

## 釣針

太郎冠者 ● 茂山千五郎  
主人 ● 茂山あきら  
女 ● 茂山 蓮  
女 ● 茂山千之丞  
女 ● 鈴木 実  
女 ● 茂山慶和  
女 ● 井口竜也  
女 ● 茂山鳳仁  
女 ● 島田洋海

主人と太郎冠者は西宮の夷様へ参詣にかけ、西門にある何でも望みの物が釣れる釣針を授けるといってお告げを授かります。それを持って早速二人は打出の浜へ出掛けます。さて何を釣ろうかと思案の上、独身の主人のために妻を釣ろうということになり、太郎冠者は主人の妻を釣り上げます。次に身の回りの世話をする下女も大勢釣り上げました。そこで独身の太郎冠者も下女の中から妻を選んで良いと言われて選ばうとしますが、下女達の顔を見て……



©福田文男

西宮の夷様は関西の庶民信仰の一つで、釣竿と鯛を持っている姿でお馴染みですが、その釣針を使って妻を釣り上げるというのが奇想天外な着想です。歌舞伎舞踊「釣女」でもお馴染みの曲です。



茂山 七五三



茂山 あきら



茂山 千五郎



茂山 宗彦



茂山 茂



茂山 逸平



茂山 千之丞



茂山 竜正



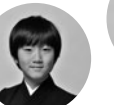
茂山 虎真



茂山 鳳仁



茂山 慶和



茂山 蓮



島田 洋海



鈴木 実

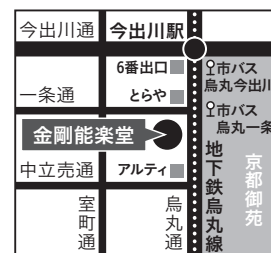


山下 守之

2022年10月10日(月)祝 14:00 開演  
(13:30開場)

前売 | 6,500円 補助席 5,500円  
※いずれも税込、一般席・補助席とも当日500円アップ

会場 | 金剛能楽堂 (京都市上京区烏丸通中立売上ル)



京都市営地下鉄烏丸線「今出川」駅下車、⑥番出口より南へ徒歩5分／京都市バス「烏丸今出川」停留所より南へ徒歩5分

※駐車場はございませんので、京都御苑の一般有料駐車場や近隣のコインパーキングをご利用ください。

チケット販売窓口

KBS京都 事業部 075-431-8300

茂山狂言会事務局 075-221-8371

金剛能楽堂 075-441-7222

セブン-イレブン(店内マルチコピー機)

7月25日(月)  
一般発売